

「鮮と笑顔をありがとう。」

愛媛FCとの出会いは、4年前のお盆、岡山に嫁いぐり年目の夏でした。

愛媛へ帰省していった私連家族に、弟が「サッカリー見に行こうや」と誘ってくれたのが始まりでした。それまでサッカーに全く興味が無く、ルールも愛媛FCの選手もほとんどわからず、本に観戦に行っただけですが、まず子供達は屋台やお店が沢山あるお祭りの様な雰囲気で大興奮、私達はスリッパの熱気やサカリータの熱い応援に大興奮。愛媛にいても「愛媛」なんて叫ぶことはほとんどないけれど、この日から「我度、愛媛」と叫んだことか。その後、サッカーのおもしろさにとりつかれた私達は、岡山にもサッカー入りを狙い、地味リリーグで奮闘しているサッカーチームがある事を知り、応援する事に。それから数年、岡山のチームは念願のサッカー入りを果たし、愛媛FCと対戦する事になりました。

淳気者の様に2つのキーを応接してはいるけれど、応接すればする程サツカーの楽しさ、奥深さを知り、増々応接する上になり、気が付くとサツカーに通じて愛嬌にも岡山にもとても大きな人の輪ができていきました。

二人の娘も、サツカーが大好きになり、サツカーは見るものではなく、応接するものとはばかりに90分間跳んではおて、声を出します。何より、点が入った時、周りにいる知らない人達とハイタッチしたり、抱きあったりする瞬間が大好き。と言います。小学校では、他の女子達と話しが合わず辛い思いをした事もあった様だけど、スタジアムの熱気がそんな事を吹き飛ばしてくれるみたいです。

年齢が上がれば、親と一緒に行動しなくなる。おどと、うことを聞いたりしますが、我家には全く関係ありません。サツカーとサッカーで強く話ばれよう。そんな気がしています。後でも買ってもサツカー、サツカーの家です。

もし、あの日ヤツカいを見に行っていたら、
 たら、。 どうなっていたか知らんて、今ヤツ
 カイの悪い生活が想像できはいいのと同じで、
 全く想像できませんが、もう少し貯金はあ
 ったかな。 それでも、家族で同じ時間を共有で
 きることのすばらしさは、お金に換えがたい
 物があると思えます。

今も娘達がカレンドーを見ワケ試合の日
 を指折り数えていきます。そして今、とても楽
 しみにしているのが、家族が上手に分かれ合
 事から周囲に、家庭内ダービーとも言われ
 ている、愛媛FC対アズーノ岡山の試合に
 行くことです。？ 僕何日かない？と次女がカレ
 ニダービーにらめ、こしてります。

私達の声援が、選手達の力になると信じて、
 一歩でも一kmでも前へ行、てほしいと願いな
 から、今日も声を枯らし力一杯跳びはけます。
 私達家族に素直な時間と思えば、おもしろ、愛
 媛FCとヤツカイに感謝しはから。

私達家族に絆と笑顔をありがとう。愛媛FC

岡山県在中 女性 36歳

観戦歴 5年目
 突入